

国連環境計画（UNEP）とその活動

Mining & Sustainability (3)

金属資源開発調査企画グループ 調査役
uematsu-kazuhiko@jogmec.go.jp

植松 和彦

1. 国連環境計画（UNEP）

国連環境計画（United Nations Environment Program : UNEP : [http://www.uneptie.org/pc/mining/]）は、1972年にストックホルム（スウェーデン）で開催された国連人間環境会議を契機に、同会議で採択された「人間環境宣言」ならびに「国連国際行動計画」を実施するために設立された機関である。

UNEPでは、産業界をはじめ様々な組織との連携により、鉱業と環境をめぐる問題に取り組んできた。1999年11月には、国連・経済社会局（United Nations Department of Economic and Social Affairs : DESA）と共同で鉱業と環境に関する円卓会議を開催。また2000年からは、技術・産業・経済事局（Division of Technology, Industry, and Economics : DTIE）を中心に調査研究活動やワークショップの開催等のプログラムを推進している。

2. UNEPの最近の鉱業分野における主な活動

(1) 「国際シアン管理規則」の策定

2000年1月にルーマニアの金鉱山（バイアマーレ）で起きたシアン系鉱滓事故を受け、報告書をまとめた。さらに、国際金属・環境評議会（the International Council on Metals and the Environment : ICME）と共同で、多様な関係者による委員会を通じ、金鉱業における自主的な「シアン管理規則」の検討を進め、2002年5月から運用を開始した。この規則においては、シアンの製造、輸送、取り扱い・保管、操業、施設の閉鎖・廃棄、労働者の安全、緊急時の対策、訓練、利害関係者との対話に関する原則及び実施基準が定められている（http://www.cyanidecode.org/）。

(2) 鉱業における緊急事態への対応

鉱業における緊急事態への対応を改善することを目的に、ICMEと共同で2000年5月にブリュッセル（ベルギー）においてワークショップを開催。2001年5月に技術レポートとして「地域における緊急事態への認識と準備のための鉱業向けガイダンス」を発行した。

(3) ヨハネスブルグサミットにおける分野別報告書の作成

2002年8～9月にヨハネスブルグ（南アフリカ）で開催された「持続可能な開発に関する世界首脳会議」（The World Summit on Sustainable Development : WSSD）に向け、1992年の国連環境開発会議（リオサミット）で採択された「アジェンダ21」の実施状況等を含め、持続可能な開発に向けた各産業の取り組みや今後の対応についてまとめた報告書を、産業界と協力して作成した。鉱業に関しては、アルミニウム、石炭、鉄に関する報告書が作成された。

[http://www.johannesburgsummit.org/]

[http://www.uneptie.org/pc/mining/wssd/wssd-mining.htm]

(4) 各種ワークショップの開催

「環境技術評価に関するワークショップ」：2000年2月：マニラ（フィリピン）

「国際鉱山監督者ワークショップ」

第1回：テーマ「産業界による自主的対応と政府規制との接点」：2000年10月パース（オーストラリア）

第2回：テーマ「鉱滓や化学物質による事故防止に向けた規制」：2002年5月トロント（カナダ）

「第1回国際閉山ワークショップ」：テ

ーマ「鉱山の閉山に伴う問題や意思決定等」：チリ銅委員会共催：2001年6月サンチャゴ

「ファイナンスと鉱業及び持続可能な開発」：世界銀行等との共催：2001年（ワシントン）及び2002年パリ

(5) 「鉱物資源フォーラム」(MRF)の運営

国連貿易開発会議（United Nations Conference on Trade and Development：UNCTAD）と共同で、鉱業・金属と持続可能な開発に関する情報を扱うウェブサイト「**鉱物資源フォーラム**」（The Mineral Resources Forum：MRF：[<http://www.natural-resources.org/minerals/>])を運営している。

このサイトは、政府、産業界、市民団体など幅広い層を対象とし、資源開発から生産、流通、消費、廃棄、リサイクルに至る鉱業のライフサイクル全般に関する情報の提供と、学際的な取り組みの促進を目指している。提供される情報は、環境、開発、法律・政策、企業の社会的責任（CSR）、小規模鉱業、教育といった分野に分かれており、また世界の地域別の情報も整備されている。

[<http://www.natural-resources.org/minerals/>]

(6) 持続可能な開発に向けた鉱業・金属産業の取り組みに関する情報提供

国連環境計画（UNEP）では、イギリス政府の国際開発省、国連貿易開発会議（UNCTAD）、国際金属・鉱業評議会（ICMM）と共同で、持続可能な開発に向けた鉱業・金属産業の取り組みにおける世界の先進的な取り組み、基準、ガイドライン等に関するインターネット上のライブラリー「Good Practice」を開設・運営している。

同ウェブサイト（<http://www.goodpracticemining.org/>）では、鉱業・金属のライフサイクル、取り組み内容、組織形態、地域などの分野別に利用者が必要な情報の検索ができる仕組みを整備している。

参考までに同サイトのカバーページに掲載の報告書を紹介する。



1



3



2



4

1. Integrating Mining and Biodiversity Conservation: Case studies from around the world
2. Enduring Value: The Australian Minerals Industry Framework for Sustainable Development (Summary Booklet)
3. HIV/AIDS Guide for the Mining Sector: A Resource for Developing Stakeholder Competency and Compliance in Mining Communities in Southern Africa
4. Minerals Industry Risk Management Gateway (MIRMgate)

以上
(2005.6.15)